



絵本作家 二見正直 原画展を終えて

「人のつながり・出会い・再会」(孝子)

久しぶりに店内で原画展を開きました。作者の二見正直さんとは倍ほども年が離れております。それぞれのルートで絵本や紙芝居に携わってきたのに、話してみると不思議と共通の接点があり、今回のような素敵な繋がりを持つことができました。

さて、このイベントを発信して下さった西村淳さんは、当店のホームページを立ち上げ、常にニュースを広めて下さっています。それを見たお客様からコメントやお手紙を頂いたり、足を運んで下さったり。東京や九州など遠い地であっても繋がっていることを感じたり、また、豊田市、伊賀市、四日市市、津市等から来て下さった方と、久しぶりに会う幸せなひとときを過ごしたり。人との繋がりや、出会い、再会が私(老婆)の心の滴となり、生きる力を与えてくれています。

「あなたはとにかく運が良い」(二見正直)

会期中、店主さんに両手両足でも数え切れない数、そう言われた。たしかに原画展スタートからして強運で、コロナ禍の自粛期間が仮に無かったとしたら、私の職場は繁忙期に突入。最低限の準備す



らでせず、企画はいつまでも企画のままだった。

禍を転じるかたちで原画展を開始。納品のためにお店を訪れるたび、すかつとするくらい「まさに今」でお客さんと出会う。それはたいてい、店主さんが私に引き合わせたかった方で、話はピンポン玉のようにはずむ。

23日には「おはなし会&サイン会」で地域の方と交流させていただいた。質疑応答の時間の中で申し上げたことがある。小学生のころの私に、父は、「本を買うならいくらでも金を出す」と言ってくれたこと。あのときの父の言葉により、私は本が好きになり、本を描くようになり、いま、本を披露までしている。時を経て、いまの幸せに繋がっている。

そんな言葉をくれた父が父であったこと。やはり生まれついて運が良いのだろう、と自覚している。

※ホームページでも紹介しています。

「みやがわ書店の公式ホーム」で検索するか下のQRコードで

えほんと童話の店 みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)

電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com

定休日 毎週日曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00

ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



二見さんのおはなし会に参加して

この日をずっと待ち望んでいました。早く二見さんのお話を聞きたく、ワクワクしながら私たちがお店に入った瞬間、絵本の世界にいたような感覚になりました。二見さんご本人がご自身の絵本の読み聞かせを行い、その表情、声が絵本に合っていて、聞いていて幸せになりました。今、私たちは保育者や教員を目指し、日々勉強に励んでいます。この学生の期間に、こんなにも貴重な時間を過ごすことができ、私たちの財産になりました。みやがわ書店では、色々な繋がりを大切にされていて、その繋がりの輪に入ることができ、とても幸せです。本当にありがとうございます。(水&中野)



ナルニア国ものがたり ライオンと魔女

読んだ感想を届けてください!

一番心に残っている場面は、ライオンの王「アスラン」が魔女に倒されるところです。その時の少女達の気持ちは、内容に入り込むと、すぐ分かる気がします。

最後の場面で、子供たちがナルニアから戻ってきた後、大先生にナルニアで起こったことを話していました。その後の大先生の言葉が、私にはアスランが話しているように聞こえました。(中学3年 中川 ゆき)



学童の「読書コーナー」から

私たちの学童では、宿題の後とおやつの後、ソファで囲った読書コーナーで本読みをします。みやがわ書店で選んだ絵本は、低学年の子達に大人気。「バムとケロのそらのたび」はページが外れて何度も修理しました。

ある日、お迎えのお母さんが「先生、うちの子が『バムケロの本買って』って言うんです。本を買ってというのは初めてです!と報告してくれました。又、別の日、元気な男の子のお母さんが「この前気がついたら、本棚から本を出して試しているんですよ!今までは自分から本を手を取ったことないのに。」

字を習いたての一年生には、最初は読んであげることから始まります。次は一緒に読み、やがて自分で読んでいくようになります。

子どもの世界が広がっていく様子が手に取るように見られるのが「小さな読書コーナー」。「新鮮な絵本」は、子どもと親と支援員の喜びを生み出し、結んでくれています。(学童支援員 松井きよみ)

お知らせ 2020 7

日	月	火	水	木	金	土
			紙芝居 ピッコの会 ミニ講座 1	2	3	4
定休日	6	7 おはなし会	8	9	10	11
	13	大人のための 絵本の時間 14	15	16	17	18
	20	21 おはなし会	22	23	24	25 おはなし会
	27	28	29	30	31	

おはなし会

7日(火) 11:00~
21日(火) 11:00~
25日(土) 14:00~

大人のための

絵本の時間

14日(火) 10:30~

紙芝居ピッコの会

ミニ講座

1日(水) 13:30~





「あな あな はてな」
はらぺこめがね
アリス館 1,430円 (税込)

あなのあいているもの、な
ーんだ??ちくわ、マカロニ
…どうしてあいた??あなに
は理由があります。作者は
食べ物をテーマとしたユニ
ークな絵本作りをしてい
る「夫婦イラストユニット」
です。

新刊紹介

タイトル
二見正直



「のりかえの旅」
長田真作
あすなる書房 1,540円(税込)

「移動自粛」を強いられた私たち、じっと
している苦痛を知りましたよね。さて、この
本は乗り換えて乗り換えて…はるばる移
動してでも行きたい場所、会いたい人が
いることの幸せを感じます。



「はかせの ふしぎな プール」
中村 至男 さく
福音館書店 990円 (税込)

毎日デザイン賞(2019)受賞したグラフィッ
ク・デザイナーによる「部分から全体」を想像
する絵本。といっても気軽に「あてっこ」。さ
っぱり当たらない「じよしゅくん」ですが、最
後は大変なことに「じよしゅくん」がんばれ!



「いっしょに いてね」
作 ポリーヌ
・ドゥラブロワ=アラル
絵 HifuMiyo
訳 山口羊子
ポプラ社 1,540円 (税込)

ママと娘の2人だけの素敵な
暮らし。一緒にいても心は同
じではない。離れていても心
はつながっている。日常の一
瞬を切り取って、二つの心を見
せてくれます。

おすすめ紙芝居



「ぞうさんきかんしゃ ぽっぽっぽ」 8場面
脚本・絵 とよたかずひこ
童心社 1,540円 (税込)

ぽっぽっぽ…ぞうさんきかんしゃが走っていま
す。運転手はぞうさん、みんなを乗せて、みん
なで走っています。でもお客は走るのに疲れて
きました。
そこでぞうさんは…

大人コース



「山はしっている」
作 リビー
・ウォルデン
絵 リチャード
・ジョーンズ
訳 横山和江 鈴木出版 1,650円 (税込)

今月は絵をじっくり眺めてしまう一冊です。絵の中
に光と空気を感じられます。日に照らされた一面
は柔らかであたたかく、そして日が落ちるとひんや
りと張りつめていく。そこに住む動物たちの生活が
そっと語られます。楽しそうであったり、たくましくあ
ったり、愛情にあふれていたり…山は、そんな「命」
の営みがあることで活気づき、また、“生きること”
と表裏の“どうしようもない事情”も知りつつ、生き
ものを優しく厳しく育てていく。読んでいる私も同じ
「生きもの」として、「山」の存在を感じていたい…
(さつき)

理科的好奇心 絵本版ずかん特集



「うみで なんのぎょうれつ?」
オームラトモ
ポプラ社 1,430円 (税込)

50もの海の生きものた
ちが次々登場。図鑑の
ように順番に並んでいま
す。でも、それは目的が
あって並んでいるので
す。



「南極のさかな 大図鑑」
岩見 哲夫・文
廣野 研一・絵
福音館書店 1,430円 (税込)

世界一冷たい南極の海にた
くさんの魚が住んでいるこ
とが分かってきました。厳しい
環境で生きるために体を変
えてきた「進化の結果」。見
ていて飽きない魚の姿。



「きょうりゅうの ずかん」
作 五十嵐 美和子
監修 富田 京一
白泉社 1,210円 (税込)

先日の「恐竜のミイラ」発見
のニュースは、もう決して出
会えない生きものが確かに
実存していたことを物語りま
す。この本は、どんな恐竜た
ちがいて、なぜいなくなった
のか教えてくれます。



「わたしたちのカメムシずかん」
鈴木 海花 文
はた こうしろう 絵
福音館書店 1,430円 (税込)

厄介者のカメムシですが、岩
手のある小学校が一念発起!
図鑑を作っていました。自
由研究のプロセスと、子
ども達や先生、親たちも楽し
んでいく様子がおもしろい!